

IoT事業・商品開発 について

ハートテクノロジーズ株式会社

大森正

IoT事業・商品開発について

どのように開発していけば良いか
ポイントを解説します

IoTで何を行ないたいのか？

- 現在御自身(の勤めている会社)で、
何を事業にしていますか？

メーカーだとIoTに取り組みやすい

- いまや殆どの商品がIoT化出来て、付加価値をつけることができます。

商品のIoT化で良くある例

1. 商品の劣化診断、寿命診断
2. 商品の使われ方自動収集

商品化と別に使われるIoTで有名なものは？

- 工場でのIoT
 - 工程検査のデータ収集、フィードバック
 - 工場で働いている人のモニタリング

IoTとサービス事業の関係

IoTで毎月様々なデータをクラウドに上げることによって、モニタリングをしたり、フィードバックすることでお客様に価値を与える



毎月課金で収入が得られる仕組み



サービス事業につなげられる

IoT開発要素は？

- デバイス(センサー、アクチュエータ)
- 無線方式の選択
- 組み込みプロセッサの選択
- 組み込みソフトウェア開発
- クラウドの選択と、クラウドソフト開発
- PC/スマホ アプリソフト開発

IoT開発での課題

- 開発が多岐にわたるので、自社だけで開発するのは困難
 - 良い開発委託先の選択が重要
- 商品発売後も開発が必要になることが多い
 - サービス事業 メンテナンス
- 開発費の精査が必要
 - 開発が伸びることが多い。サービス事業に期待しすぎないこと